



第 69 回大会 ヤクルトチーム決勝ゴール

最多優勝チーム

順位	回数	チーム名
1	13	リッカー
2	9	Honda
3	4	小森コーポレーション、常磐炭鉱、ダイエー、日産自動車

連覇記録

順位	回数	チーム名
1	4 連覇	ダイエー (47 回～ 50 回)
2	3 連覇	リッカー (31 回～ 33 回)
3	2 連覇	ヤクルト (68・69 回) ほか 10 チーム

大会の見どころ

十八駅伝は、十和田湖畔をスタートし、発荷峠を越え、大湯温泉郷、花輪商店街を走り抜け、八幡平大沼まで一気に駆け上がる全長 73・7 km のコースを 5 人の選手がたすきを繋ぎます。標高差 818 m と起伏が激しく、また、炎天下のなか行われるため「真夏の過酷な駅伝大会」として定着しています。

毎年、実業団チームをはじめ大学、クラブチームなど 30 を超えるチームが出場しており、国内トップクラスの選手や地元ゆかりのある選手が走る姿を間近で見ることがができます。

今年は 2 連覇中のヤクルトチームが 3 連覇を達成するのか、それとも他のチームが節目の大会の栄冠を手にするのか、目が離せない大会となっています。

市では、沿道の皆さんが親しみを持って応援できるよう、出場チームと選手の意気込みなどを掲載したチーム紹介冊子を作成します。

冊子を片手に 70 回の歴史を感じながら、力走する選手たちを沿道から応援し、一緒に大会を盛り上げましょう。

フェイスブックでレース速報を

今年度から開設したスポーツ振興課のフェイスブックページで、十八駅伝の途中経過を速報する予定です。

@kazunosports で検索できますので、ぜひご覧ください。

十和田八幡平駅伝競走全国大会 第 70 回記念イベント・グッズ

・「駅伝のまち鹿角」陸上クリニック

- 実業団チームによる陸上クリニックを開催します。
- ▶日時 8 月 5 日(土) 9 時～ 11 時 (受付 8 時～)
 - ▶場所 総合運動公園 総合競技場
 - ▶対象者 小学生～高校生
 - ▶内容 長距離走クリニック
 - ▶参加費 1 人 200 円 (保険料含む)
 - ▶申込方法 スポーツ振興課、各市民センター、アルパスに備え付けの申込書でお申し込みください。
 - ▶申込締切 7 月 28 日(金)
- 問 スポーツ振興課 ☎ 30-0297

・スポーツ講演会

- 本市出身で世界陸上選手権エドモントン大会男子マラソン日本代表の高橋健一氏による講演会を開催します。
- ▶日時 8 月 5 日(土) 17 時～ 18 時 30 分 (受付 16 時～)
 - ▶場所 花輪市民センター 講堂 (コモッセ内)
 - ▶講師 高橋 健一 氏 (富士通陸上競技部駅伝監督)
 - ▶テーマ 「強く」 なるための思考法
 - ▶申込方法 郵送や電話、FAX でお申し込みください。
 - ▶申込締切 7 月 28 日(金)
- 問 鹿角地域振興局 地域企画課 ☎ 22-0457/FAX 23-5574

・大会記念ポロシャツ・T シャツの販売

記念ポロシャツ (1 枚 2,500 円)

色: ホワイト・ブラック

ロゴ

記念 T シャツ (1 枚 1,500 円)

色: ホワイト

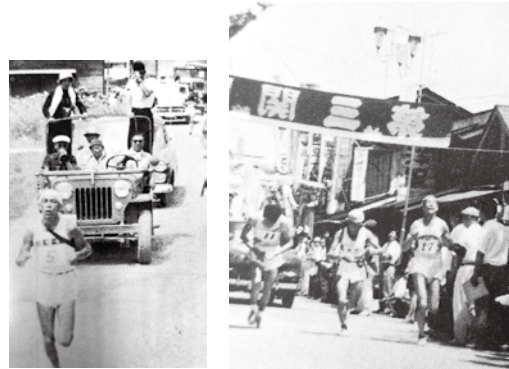
- ▶サイズ: S・M・L・XL・2XL
 - ▶販売開始: 7 月下旬
 - ▶販売場所: 大会事務局
- ※料金と引き換えでお渡しします。
※サイズに限りがあります。
- 問 十和田八幡平駅伝競走全国大会事務局 (スポーツ振興課内) ☎ 30-0297

～ 第 70 回記念十和田八幡平駅伝競走全国大会 ～

十和田八幡平を「たすき」で繋ぐ 熱い戦いが駆け抜ける

十八 (じゅっばち) 駅伝の愛称で親しまれる本大会も今年で 70 周年を迎えます。
8 月 7 日(土)、十和田湖休屋から八幡平大沼まで、全国の強豪が真夏の鹿角を駆け抜けます。

問 スポーツ振興課 ☎ 30-0297



第 8 回大会の様子。この頃から伴走は自動車に。

戦後まもなく始まった駅伝

十八駅伝は、昭和 23 年、戦後の混乱の中、地元青年の志気高揚や観光 P R を目的に「国立公園十和田湖八幡平観光コース駅伝競走大会」として始まりました。

当時の大会は現在の 2 倍の距離で、休屋から蒸ノ湯までの往復 134・8 キロを 2 日間で駆け抜けました。現在は道路も整備されていますが、当時は山道、砂利道で、伴走も自転車で行っていました。

第 1 回大会の要項の中には「(宿泊について) 一食二合の飯米持参のこと」との記載があり、戦後の苦しい食糧事情にもかかわらず開催された様子が窺えます。



多くの方の応援やボランティアが大会を支えてきました。

数々の有名ランナーが繋いだ駅伝

これまで十八駅伝には、数々の有名なランナーが出演しています。

山田敬蔵氏 (大館市出身)
ヘルシンキ五輪男子マラソン日本代表
第 3 回大会 (昭和 25 年) に秋田県チームでの出場をはじめ、計 7 回出場しました。

宗茂氏 宗猛氏
「宗兄弟」としてマラソン界を牽引。茂氏は、モントリオール、兄弟ではモスクワ、ロサンゼルス五輪マラソン日本代表
第 34 回大会 (昭和 56 年) に旭化成チームで出場し、花輪中継所で兄弟でたすきリレーしました。



兄から弟へのたすきリレー

高橋健一氏 (本市出身)
世界陸上選手権エドモントン大会男子マラソン日本代表
第 48 回大会 (平成 7 年)、第 50 回大会 (平成 9 年) にダイエーチームで出場しました。

石川末廣氏
リオデジャネイロ五輪マラソン日本代表
第 55 回大会 (平成 14 年)、第 61 回大会 (平成 20 年) に Honda チームで出場しました。

柏原竜二氏
箱根駅伝 5 区で 4 年連続区間賞獲得
第 64 回大会 (平成 23 年) に東洋大学チームで 5 区に出場しました。

松宮隆行氏 (本市出身)
北京五輪男子長距離トラック日本代表
第 55 回大会 (平成 14 年) に鹿角選抜で出場しました。また、第 67 回大会 (平成 26 年) に弟の祐行氏とともに鹿角陸上競技協会出場し、花輪中継所で兄弟でたすきリレーしました。